

平成26年度公共事業評価意見書に対する対応方針・対応状況

事前評価（8件）

所管部	事業名	箇所・地区名	所在地	意見の内容	対応方針・対応状況
農政部	畑地帯総合整備事業	菱山	甲州市	この事業は、甲州市勝沼町の斜面を利用したぶどう栽培が盛んな地域において、農道、用排水路、ほ場整備及び獣害防止施設等の農業生産基盤を総合的に整備するものである。 現在、労力を要する地形、農家の高齢化、耕作放棄地の増加等の問題を抱える中、本事業により農作業の効率化、担い手への分散した農地の集積、獣害防止対策等を進めることとしており、農業経営の安定化が図られる。このため、事業の必要性が高いと評価できることから、実施が妥当である。	(耕地課)
県土整備部	道路事業	早川芦安連絡道路	南アルプス市・南巨摩郡早川町	この事業は、早川町奈良田と南アルプス市芦安を結ぶ災害に強い道路を新たに整備するものである。本道路により冬期の往来も可能になり、早川町内の孤立集落の解消や南アルプス地域の一年を通じた観光が期待されることから事業の必要性は高く、実施が妥当である。 また、本工事によるトンネル掘削土やリニア建設工事による発生土を有効活用する点については評価できる。 なお、南アルプス地域は本年6月にユネスコエコパークに登録されており、景観や自然環境の保全も重要であることから、環境への影響を十分調査し、計画や設計に適切に反映するよう努められたい。	(道路整備課) 計画に際しては盛土法面を緑化するなど景観に配慮すると共に、環境調査を実施し、必要に応じ、環境負荷の低減や自然環境の保全等について設計に反映させる。
農政部	畑地帯総合整備事業	一宮南部	笛吹市	この事業は、笛吹市一宮町のもも、ぶどう等の栽培が盛んな地域において、農道、用排水路、ほ場整備及び獣害防止施設等の農業生産基盤を総合的に整備するものである。 現在、農家の高齢化、耕作放棄地の増加等の問題を抱える中、本事業により農作業の効率化、農地の集積、獣害防止対策等を進めて、担い手の意欲向上・育成や農業経営の安定化を図ることとしており、日本有数の果樹産地が将来にわたって維持・発展していくことが期待される。このため、事業の必要性は高く、実施が妥当である。	(耕地課)
農政部	中山間地域総合整備事業	身延南部	南巨摩郡身延町	この事業は、身延町の水稲、露地野菜を中心とした農業が営まれている中山間地域において、農道、用排水路、ほ場整備及び獣害防止施設等の農業生産基盤を総合的に整備するものである。 現在、農家の高齢化、耕作放棄地の増加等の問題を抱える中、本事業により農作業の効率化、獣害防止対策等を進めて、条件不利地域における農業経営の安定化を図ることとしている。 また、平成29年度には中部横断自動車道が開通予定であり、現在実施している特産品である「あけぼの大豆」の収穫体験を通じた都市住民との交流等もより一層期待されることから、事業の必要性は高く、実施が妥当である。 なお、実施にあたっては、良好な農村景観の維持等に十分配慮して進められたい。	(耕地課) 事業の実施にあたっては、関係農家や地域住民の理解と合意を得るなかで、農村景観の維持、保全に十分配慮し、地域の特性に応じた整備に努めていく。

事前評価（8件）

所管部	事業名	箇所・地区名	所在地	意見の内容	対応方針・対応状況
農政部	中山間地域総合整備事業	双葉北部	甲斐市	この事業は、甲斐市の水稻、野菜、果樹栽培が複合的に行われる地域において、水田のほ場整備を中心に、農道、用排水路、ため池等の農業生産基盤を総合的に整備するものである。 現在、農家の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等の問題を抱える中、本事業により農作業の効率化、担い手への農地の集積、用水の安定供給等を進めることで、農業経営の安定化を図ることとしている。 また、中央自動車道の韮崎ICや双葉スマートICに近い恵まれた立地を生かした観光農業等の更なる展開も期待されることから、事業の必要性は高く、実施が妥当である。	(耕地課)
農政部	耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業	中山	北杜市	この事業は、北杜市武川町のかつて養蚕が盛んだった地域において、ほ場整備、用排水路、獣害防止施設等の農業生産基盤を整備し、耕作放棄地の解消を図るものである。 現在、桑園が遊休化して有害鳥獣の住みかになり、周辺の営農等に影響を及ぼしている中、本事業により、耕作放棄地を解消して、分散した農地の集積等により優良農地に再生することで、農業生産法人等の参入による大規模産地の形成が可能となり、新たな農業の展開による地域の活性化が期待される。このため、事業の必要性は高く、実施が妥当である。	(耕地課)
県土整備部	住宅事業	県営住宅富士見団地	西八代郡市川三郷町	この事業は、築後41年が経過し、設備が老朽化した県営富士見団地について、地域の公営住宅へのニーズが依然として高いことから、建て替え整備をするものである。 建て替えに当たっては、世帯構成に合わせた間取りとしている点や、エレベーターの設置及び室内の段差解消等バリアフリーにも努めており、多様な入居者に配慮された計画となっている。このため、事業の必要性が高いと評価できることから、実施が妥当である。 なお、河川に挟まれた場所であることから、排水計画や浸水への備え等について十分配慮されたい。	(建築住宅課) 敷地内の排水計画については、都市計画法の開発許可基準に基づき、関係機関と協議を行う中で十分な検討を行い、計画を進めていく。
県土整備部	道路事業	(主)甲府中央右左口線	甲府市	この事業は、リニア新駅が予定されている甲府市天津町において、(仮称)甲府中央スマートICと新山梨環状道路を結ぶ4車線の連絡道路及びリニア新駅の駅前広場、パーク＆ライド用駐車場を整備するものである。 現在、(主)甲府中央右左口線は歩道のない片側1車線道路のため、通勤時間帯には渋滞が発生しており、平成31年度のスマートICの供用時には連絡道路として、また、平成39年のリニア開業時には駅へのアクセス道路としてさらなる交通量の増加が見込まれることから、メイン通りとしての質の高い整備を進める必要性が認められる。 さらに、駅前広場及び駐車場と一体的に整備することにより、交通結節機能の強化が図られ、リニア新駅へのアクセスが向上すると評価できることから、実施が妥当である。 なお、スマートICと駅へのアクセス道路が直結する計画であることから、それぞれの利用台数等も踏まえた課題の検討を実施されたい。	(道路整備課) (仮称)甲府中央スマートICの平成31年度供用及びリニア中央新幹線の平成39年開通に合わせ、利用台数の推計をするなかで課題を整理し、中日本高速道路(株)並びにJR東海と事業計画や工程等について十分調整を行い、事業推進に努めていく。

再評価（5件）

区分	所管部	事業名	箇所・地区名	所在地	意見書の内容	対応方針・対応状況
計画内容を見直した上で継続することが妥当と判断した事業	農政部	農地環境整備事業	天王原	北杜市	<p>この事業は、北杜市明野町の茅ヶ岳西麓に広がるかつて養蚕が中心だった地域において、ほ場整備や鳥獣害防止施設等の整備により、遊休桑園を優良農地に再生するものである。</p> <p>今回の見直し案は、農業生産法人の新たな参入を視野に入れたほ場の大区画化、排水路工や獣害防止施設の整備量の増加に伴い事業費を増額する内容となっている。</p> <p>これにより、野菜や醸造用ぶどう等の大規模産地の形成が可能となり、新規の雇用創出や新たな農業の展開による地域の活性化が期待できることから、その実現のために見直し案どおり事業を進められたい。</p> <p>なお、事業完了後には新たな担い手の参入が見込まれるが、担い手が将来にわたって定着できるような支援策を講じられたい。</p>	<p>（耕地課）</p> <p>野菜や醸造用ぶどう等の大規模産地の形成に向け、時間管理を徹底して計画どおり平成30年度に事業を完成させ、事業効果が早期に発現できるよう努めていく。</p> <p>なお、事業完了後に参入が見込まれる担い手が、将来にわたって定着できるよう、地域普及センターによる営農、経営面に対する支援等も併せて行なっていく。</p>
工期の変更を行った上で継続することが妥当と判断した事業	農政部	農道事業	釈迦堂	甲州市・ 笛吹市	<p>この事業は、甲州市勝沼町から笛吹市一宮町までの果樹地帯を結ぶ幹線農道を整備して、農産物の集出荷に要する輸送時間の短縮等を図るものである。</p> <p>今回の見直し案は、終点部周辺の難航していた用地取得の目途が立ったことから、事業期間を2年延長して全線開通を目指す内容となっている。</p> <p>この道路の開通により、この地域の生産流通の合理化と農業経営の安定化が図られ、観光農業の推進にも寄与することから、見直し案どおり平成28年度の完成に努められたい。</p>	<p>（耕地課）</p> <p>難航していた用地取得の目途が立ったことから、時間管理を一層徹底して、今回案のとおり平成28年度に事業を完成させ、観光農業の展開等の事業効果が早期に発現できるよう努めていく。</p>

再評価（5件）

区分	所管部	事業名	箇所・地区名	所在地	意見書の内容	対応方針・対応状況
計画内容を見直し、工期の変更を行った上で継続することが妥当と判断した事業	県土整備部	街路事業	(都)滝坂下今井線	甲斐市	<p>この事業は、甲斐市龍地地内の(都)滝坂下今井線において両側歩道の2車線道路を整備する街路事業である。本路線は甲府市と甲斐市を結ぶネットワーク機能や竜王駅へのアクセス機能を担う主要な路線であるが、現道は幅員が狭く、歩道が未設置のため渋滞が著しく、歩行者や自転車の通行にも支障を来している。</p> <p>このため、早期の完成を図り、整備効果を発現させることが期待されている。</p> <p>今回の見直し案は、電線共同溝の追加施工等及び用地取得に時間を要したことにより、事業費を増額するとともに事業期間を延長する内容となっている。</p> <p>用地取得に関しては、残り1区画について土地収用法の手続きを進める中で、土地所有者との和解が成立したことから、見直し案のとおり平成28年度の完成に努められたい。</p>	(都市計画課) 平成28年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。
	県土整備部	道路事業	(-)高畑谷村停車場線(宝バイパス)	都留市	<p>この事業は、都留市内の(-)高畑谷村停車場線において、現道の幅員が狭く、歩道未設置区間にバイパスを整備する事業である。本路線沿いにある中央自動車道都留ICのフルインター化に伴い、交通量が増加していること、また、宅地開発の進行による交通量の増加が今後さらに見込まれることから、早期の完成が期待されている。</p> <p>今回の見直し案は、トンネル設計基準の改正に伴いトンネル工事を一部変更するとともに、用地交渉が難航したことにより事業期間を延長する内容となっている。難航していた用地の取得にも目途が立ったことから、見直し案のとおり平成28年度の完成に努められたい。</p> <p>なお、今後は、用地買収に時間を要し事業が遅れが生じることのないよう当初計画段階から事前調査等に努められたい。</p>	(道路整備課) 平成28年度完成を目指し計画的な執行に努めていく。 今後、用地取得に際しては事業初期段階から、問題がある箇所を把握したうえで、地元自治体と協力するなど問題の早期解決のための対策を講じるよう努める。
	県土整備部	治水事業	藤川	甲府市	<p>この事業は、甲府市中心部を流れる一級河川藤川において、河道拡幅により浸水被害の軽減を図るための河川事業である。本事業区間は流下能力が低いため、これまで何度も氾濫し、家屋等への被害が発生していることから、早期完成を図る必要がある。</p> <p>今回の見直し案は、平成21年度の再評価以降に実施した地盤調査に基づく地盤改良の追加、新たに判明した地下埋設物等の移設、交通切り直し等が必要になることから、事業費を増額するとともに、事業期間を延長する内容となっている。</p> <p>現地視察や詳細審議を通じて内容を審査したところ見直しはやむを得ないが、今後は、事前の調査を十分行い、大きな計画変更が生じないよう計画精度の向上に努められたい。</p> <p>また、事業区間のうち、最上流部にあたる屈曲部を早期に改良することが浸水被害軽減には重要であることから、見直し案のとおり平成30年度には確実に完了するよう努められたい。</p>	(治水課) 事業の計画時においては、現地調査に加え既存資料の活用や関係者への聞き取り等を徹底し、大きな変更が生じないように努める。 また、見直しをした当該事業については、交通の切回しに必要とする用地について、地元の協力を得ながら平成30年度の事業完了に向け計画的に進めていく。

事後評価（11件）

所管部	事業名	地区・路線名	所在地	意見の内容	対応方針・対応状況
農政部	中山間地域総合整備事業	上九一色	南都留郡富士河口湖町・甲府市	<p>この事業は、甲府市の古閑・梯地域と富士河口湖町の富士ヶ嶺地域等において用排水路、農道等の農業生産基盤と活性化施設、鳥獣害防止施設等の生活環境基盤を総合的に整備したものである。</p> <p>整備後は、営農条件の改善により生産性の向上、労力軽減、耕作放棄地の発生防止等の効果が認められ、農業振興においては事業の目的が達成されたと評価できる。</p> <p>なお、活性化施設については、都市住民との交流拠点として一層の定着が図られるよう、イベントの充実やPRの強化、案内標識の改善等を通じて更なる有効活用に努められたい。</p>	(耕地課) 活性化施設が都市住民との交流拠点として一層定着するよう、イベントの充実や観光パンフレットへの掲載等でPR強化に努めるとともに、来訪者を周辺観光エリアから本施設へ効果的に誘導できるよう、案内標識等の設置を検討していく。
農政部	中山間地域総合整備事業	大月東部	大月市	<p>この事業は、大月市東部に位置する猿橋町、富浜町、梁川町一帯の中山間地域において、用排水路、農道等の農業生産基盤と農業集落道、獣害防止施設等の生活環境基盤を総合的に整備したものである。</p> <p>整備後は、営農条件の改善により農産物の品質向上、労力軽減が図られるとともに、集落道の整備により緊急車両の通行が可能になる等、営農、生活環境の両面で効果が認められることから、事業の目的が達成されたと評価できる。</p>	(耕地課)
農政部	中山間地域総合整備事業	身延	南巨摩郡身延町	<p>この事業は、南巨摩郡身延町の富士川兩岸の中山間地域において、用排水路、農道、ほ場整備等の農業生産基盤と活性化施設等の生活環境基盤を総合的に整備したものである。</p> <p>整備後は、生産基盤の改善により農産物の品質向上、労力軽減が図られるとともに、活性化施設を拠点に特産品や農産物の展示・販売が活発になり、都市住民との交流機会の増加や地域のネットワーク化が図られる等の効果が認められることから、事業の目的が達成されたと評価できる。</p>	(耕地課)
県土整備部	道路事業	国道300号(波高島バイパス)	南巨摩郡身延町	<p>この事業は、富士北麓圏域と峡南圏域を結ぶ国道300号の身延町波高島において、地域の生活環境の改善や圏域間アクセスを向上させるため、バイパスを整備したものである。</p> <p>この整備により交通の転換が図られ、地域内への通過交通量が減少したことにより歩行者等の安全性が向上するとともに、老朽橋の架け替えやトンネル整備により、新たな道路を災害時緊急輸送道路として利用することが可能となった。</p> <p>また、当初計画に対し完成が2年ほど遅れたものの、概ね計画のとおり実施されており、中部横断自動車道の完成後にはアクセス道路として利便性の向上に大きく寄与するものと評価できる。</p>	(道路整備課)

事後評価（11件）

所管部	事業名	地区・路線名	所在地	意見の内容	対応方針・対応状況
県土整備部	街路事業	(都)南下条穂坂線	韮崎市	<p>この事業は、(都)南下条穂坂線において、渋滞の解消及び歩行者の安全性の向上を目的として道路拡幅や歩道設置等の整備を行ったものである。</p> <p>交差点に右折レーンを設置したこと等により自動車交通の円滑化が図られるとともに、両側に幅の広い歩道を設置したことにより、通学や買い物等のために利用する歩行者の安全・安心が向上していると認められ、事業の目的は達成されたと評価できる。</p> <p>なお、歩行者や自転車利用者の安全性については、交通事故発生件数を評価する等、できるだけ県民にわかりやすく説明するよう努められたい。</p>	(都市計画課) 当該箇所については、交通事故発生件数のデータが存在していることが分かり、事業の前後で事故件数が減少していることが確認された。今後は出来るだけ客観的なデータ等を活用し、分かりやすい説明に努めていきたい。
県土整備部	道路事業	(一)富士河口湖芦川線(若彦トンネル)	南都留郡富士河口湖町・笛吹市	<p>この事業は、富士北麓圏域と甲府圏域とを結ぶ新たなネットワークとして、産業・観光の振興とともに、緊急時の避難路や資材等の輸送路として県民の安全・安心に寄与することを目的に新たな道路の整備を行ったものである。</p> <p>本年6月の国道137号新御坂トンネル天井板撤去工事の際には、代替道路としてその機能を発揮しており、河口湖周辺の観光シーズンの混雑緩和にも貢献していることから当初の目的は達せられたと評価できる。</p> <p>なお、芦川集落内の道路に狭い箇所があることから、改良の必要性について検討されたい。</p>	(道路整備課) 芦川地区内の狭隘部については、甲府圏域と富士北麓圏域を結ぶ道路ネットワーク全体を見たなかで、改良の必要性や整備手法等を検討していきたい。
県土整備部	街路事業	(都)愛宕町下条線(富士見工区) (都)愛宕町下条線(荒川渡河工区)	甲府市	<p>この事業は、渋滞が発生している甲府市と西部地域を結ぶ道路について、交通の分散化による渋滞解消を図るため、新たに4車線の街路整備を行ったものである。</p> <p>これまで、本道路と並行する東西方向の主要な県道2路線において朝夕を中心に著しい渋滞が生じていたが、本事業により自動車交通量が減少し、混雑度も低下している。</p> <p>総事業費や工期など概ね当初計画のとおり実施されており、事業の目的である市街地内の交通の円滑化に貢献していると評価できる。</p>	(都市計画課)
県土整備部	道路事業	国道411号(上萩原 期バイパス)	甲州市	<p>この事業は、八王子市から丹波山村を經由し甲府市に至る国道411号において、幅員が狭くヘアピンカーブが連続する甲州市上萩原地内の未改良区間にバイパスを整備したものである。</p> <p>本事業により走行性や安全性が向上し、緊急輸送道路としての機能が確保されたことから事業の主要な目的である災害に強い道路が整備されたと評価できる。</p> <p>なお、今後は、県民に事業効果をわかりやすく説明できるよう、災害解消便益等を加えた費用対効果の算出や国道20号の代替道路としての評価も合わせて検討されたい。</p>	(道路整備課) 事業の達成度を検証する上で有効なデータ等は積極的に活用し、分かりやすい説明に努める。 なお、広域ネットワークとしての効果検証については、現在事業中の 期バイパスが完了した時点で事後評価に反映していきたい。

事後評価（11件）

所管部	事業名	地区・路線名	所在地	意見の内容	対応方針・対応状況
県土整備部	治水事業	泉川	北杜市	<p>この事業は、北杜市内を流れる泉川において、流下能力を向上させるため、河道の拡幅を行い浸水被害の軽減を図ることを目的に河川改修を行ったものである。</p> <p>改修に当たっては、自然石を使用した護岸や出来る限り河川沿いの樹木を残す等、景観や生態系に配慮されている。</p> <p>また、事業完了後の平成23年9月、県内に多くの被害をもたらした台風15号による豪雨に対しても、浸水被害は発生しておらず、安全性が向上していることから、事業の目的が達成されたと評価できる。</p> <p>なお、事業貢献度については、過去の災害実績、事業の緊急度、災害発生の危険度について点数化しているが、評価の記載に当たっては、県民が理解できるよう、出来るだけわかりやすい表現を工夫されたい。</p>	<p>（治水課）</p> <p>事業貢献度の記載について、評価指標の見直しも含め出来るだけわかりやすく、具体的に評価調書に記載したい。</p>
県土整備部	砂防事業	御勅使川の3	南アルプス市	<p>この事業は、南アルプス市内を流れる御勅使川において、大規模斜面の崩壊及び洪水による土砂流出を防止するため、法枠工と堰堤を整備したものである。</p> <p>御勅使川の中上流部は山腹崩壊や溪岸浸食が進行し、特に豪雨時には、土石流発生の危険性が高い流域であるが、事業完了後の平成23年9月、県内に多くの被害をもたらした台風15号による豪雨に対しても、対策法面からの土砂崩落が防止され、堰堤による下流への土砂流出が軽減されていることから、事業の目的が達成されたと評価できる。</p> <p>なお、事業の効果をわかりやすくするため、土砂生産量を把握するための観測等についても検討されたい。</p>	<p>（砂防課）</p> <p>事業効果をわかりやすくするため、災害などにより大規模な土砂移動等が生じた場合など、河床の状況等によっては移動土砂量の観測を実施していきたい。</p>

特記を要する事項の報告（1件）

所管部	事業名	箇所・地区名	所在地	意見書の内容	対応方針・対応状況
県土整備部	下水道事業	釜無川流域下水道	韮崎市外6市町	<p>この事業は、釜無川流域下水道において、幹線管渠や処理施設を整備するものである。平成21年度に再評価を行い、市町の進捗状況を踏まえ、事業期間を平成47年度まで大幅に延長しているが、今回再評価後5年になることから進捗状況の報告があり、計画のとおり進捗していることが確認された。</p> <p>なお、今後長期間にわたり評価や報告がなされることから、関連市町と十分連携したうえで、わかりやすい資料作成や説明に努められたい。</p>	<p>（下水道室）</p> <p>今後の進捗状況の報告については、関連市町が実施する公共下水道事業の進捗との関連性を中心に、簡潔で分かりやすい資料作成に努めるとともに、計画年度までに完成できるよう、関連市町と一層の連携を図っていく。</p>

付帯意見

所管	事業名	地区・路線名	所在地	意見の内容	対応方針・対応状況
森林環境部 農政部 県土整備部				(1) 評価調書の記載内容等について 調書の記載について、経緯や根拠等情報不足が見受けられるため、出来る限り明確かつ県民にも分かりやすい表現で記述するとともに、必要に応じて事業便益の追加や評価指標の改善等にも努められたい。	評価調書には、必要に応じて事業に関する検討経緯や使用したデータの根拠等の情報を記載するとともに、評価結果について評点のみではなく、その解説を加えるなど表現を工夫し、県民に分かりやすい記述に努める。 また、事業便益や評価指標に関しては、再度検証したうえで、追加や改善について検討する。
				(2) 事後評価における効果の確認について 事後評価は事業完了後5年経過した時点で実施しているが、5年間では効果が十分に確認できない事業もあること、また、事業によっては効果の持続性を確認することも重要であることから、事業効果の確認方法等について検討されたい。	事業効果の発現状況が事後評価時点で十分に確認できない事業については、継続して必要となるデータの収集や調査等をした上で、事業効果の確認に努める。
				(3) 環境への配慮について 公共事業の実施においては、計画策定から施工に至るまで環境に及ぼす影響をできるだけ少なくする配慮が求められている。 このため、事業の実施にあたっては、自然環境との調和に十分配慮し、生態系や良好な景観の保全等に努められたい。	地域住民の理解や合意を得る中で、環境負荷の少ない仕様や工法を採用し、生態系や周辺環境・景観との調和に十分配慮して、地域の特性に応じた整備に努める。